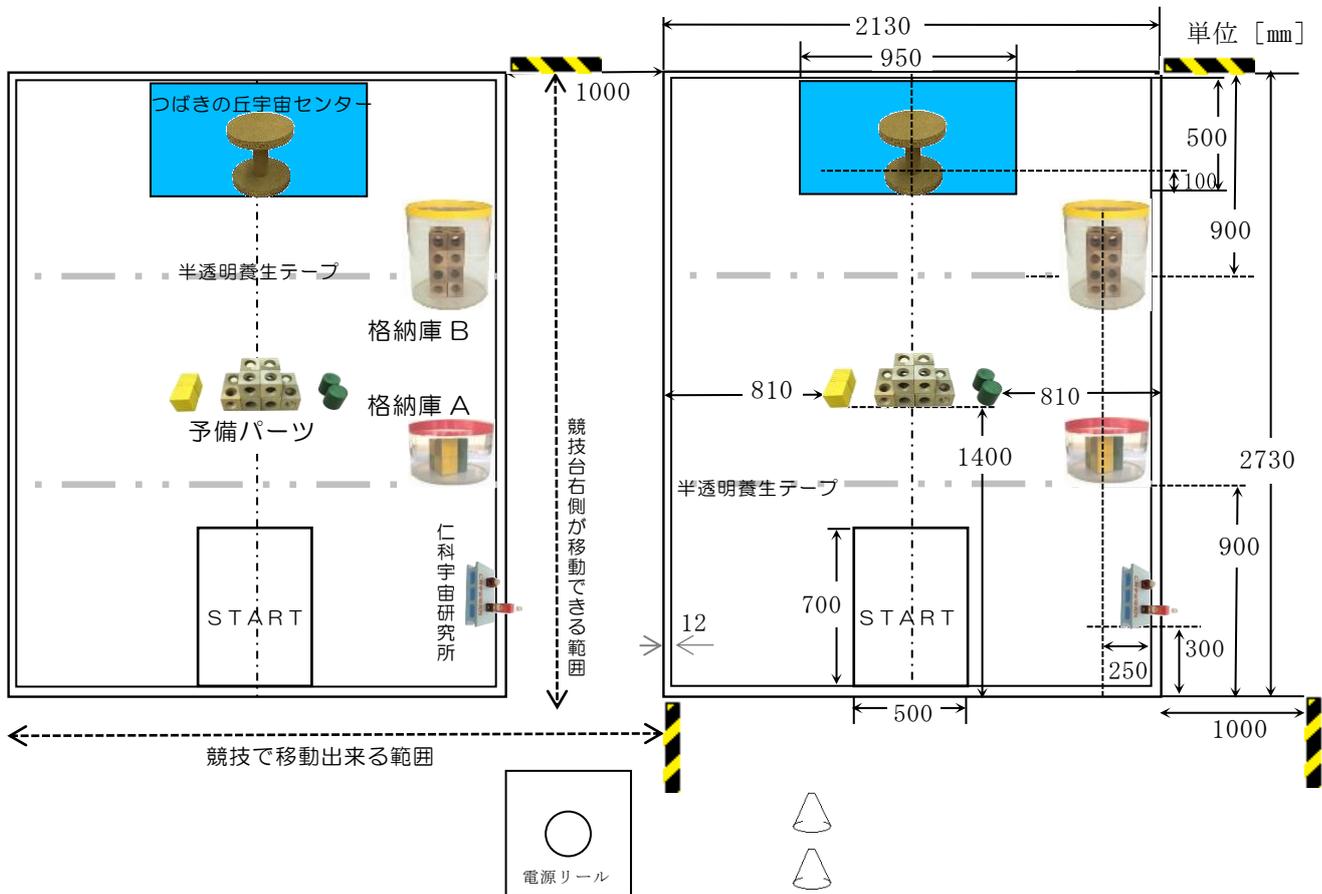


## 中学校部門用競技台・アイテム・ゴールレイアウト

※競技台・アイテム・ゴールの寸法並びに配置については誤差が伴うことを考慮すること。

図1. 競技台寸法と競技開始時のアイテム・ゴールの配置

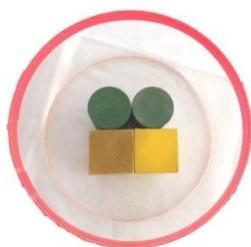


1. 競技台は、縦 2730 mm、横 2130 mm、厚さ 3 mm のベニヤ板製で、周囲は幅 12 mm、高さ 12 mm の木製の角材で囲まれている。
2. 競技台の平面は 3 枚のベニヤ板でできており、継ぎ目は半透明養生テープで覆っている。
3. 競技開始時のロボットの位置は、**START** で示す枠内である。
4. アイテムは、穴なしブロック（黄色）6 個、無色穴あきブロック（無着色）28 個、穴あきブロック（赤色）2 個、円柱（緑色）ブロック 6 個からなる 4 種類の木製のブロックとペットボトル 1 本、ピン球 1 個からなっており、競技台上の 4 カ所に配置されている。  
アイテムは図 2 のように「格納庫 A・B」、「予備パーツ」の 3 種類の積み方と、「仁科宇宙研究所」の 1 カ所に分散され置かれている。（配置は、図 1 および図 2 参照）
5. ピン球、ペットボトルは赤色穴あきブロックを台にしておかれている。
6. ブロックは木製である。（形と寸法は、図 3 参照）
7. ゴールは、つばきの丘宇宙センター（青色の板）とその上に置かれたロケット支持台（円形の台）で、それらは互いに固定されていない。（形と寸法は、図 4 参照）
8. 電源（交流 100V）は、競技台より 1 m 離れた場所に置かれた 1 m × 1 m の台（ベニヤ板）の上に設置してある電源リールが使用できる。（1 チームにつき、2 口使用できる。）

図2. アイテムの積み方

【格納庫 A】

《1 段の図 × 2 段》



上から見た積み方

【格納庫 B】

《1 段の図 × 4 段》



上から見た積み方

【予備パーツ】



スタートから見た積み方

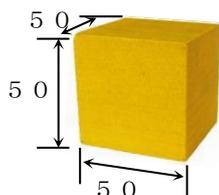
【仁科宇宙研究所】



図3. アイテムの外形と寸法・重量 単位〔mm〕

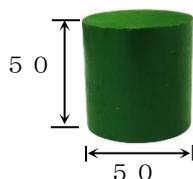
《1 段ロケット部品》

黄色ブロック  
(重量：約 65 ｸﾞﾗ)



《2 段ロケット部品》

緑色円柱ブロック  
(重量：約 50 ｸﾞﾗ)



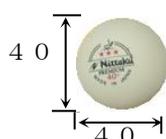
《母 船》

ペットボトル  
(約 19 ｸﾞﾗ)



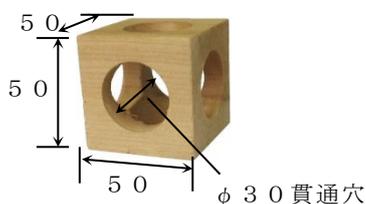
《着陸船》

ピン球  
(重量：約 3 ｸﾞﾗ)  
プラスチック製



《ブーム部品》

無色穴あきブロック  
(重量：約 35 ｸﾞﾗ)



《ブーム部品赤》

赤色穴あきブロック  
(重量：約 35 ｸﾞﾗ)

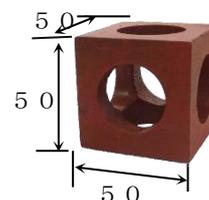
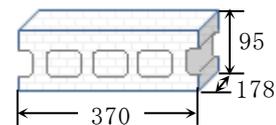


図4. ゴールと障害物の外形 単位〔mm〕

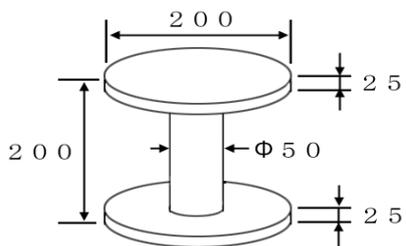
【つばきの丘宇宙センター】 (重量: 4,700 g)

【仁科宇宙研究所】



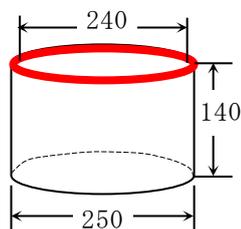
発泡スチロール製ブロック  
 横幅 370 mm、奥行 178 mm  
 高さ 95 mm

【ロケット支持台】



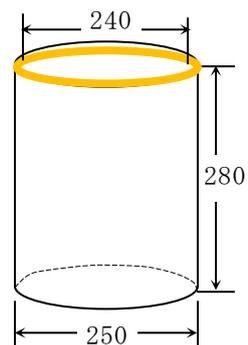
円板材質: パーティクルボード  
 軸の材質: ホウの木

【格納庫 A】



格納庫 A アクリル製円筒  
 厚さ 5 mm の透明アクリル製  
 外径 250 mm、内径 240 mm  
 高さ 140 mm、重さ 約 900 g

【格納庫 B】



格納庫 B アクリル製円筒  
 厚さ 5 mm の透明アクリル製  
 外径 250 mm、内径 240 mm  
 高さ 280 mm、重さ 約 1480 g

図5. 競技台外観図

